TK-C920 カラービデオカメラ 取扱説明書

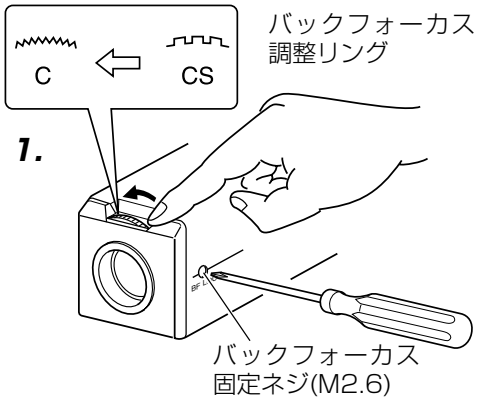
お買い上げありがとうございます

ご使用前に、この**「取扱説明書」**と別冊の**「安全上のご注意」**をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に**「安全上のご注意」**は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の上面に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

正しくお使いいただくためのご注意

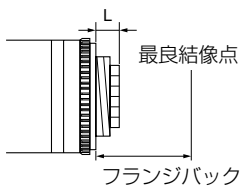
- 本機を**AGC"ON"**で使用した時、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- 本機のホワイトバランスを**"AUTO"**で使用した時、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。また、白を除いた単一色を写した場合など、正しい色温度を検出できない時には、前のホワイトバランス状態を維持することがあります。
- 本機の簡易 Day & Night 機能は、赤外線投光器などを併用する白黒暗視カメラとは異なり、白黒映像での感度アップ効果を活用した機能です。
- 簡易 Day & Night 切換スイッチを**"ON"**にすると、暗い場所では白黒モードとなります。この時、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。また、モードの切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなることがありますが、故障ではありません。
- カメラを設置場所に取り付ける前に、使用するレンズをカメラに取り付けて、動作させ、バックフォーカスを確認してから取り付けてください。また自動絞りレンズ使用時は、レンズの **ALC,LEVEL** 調整は必ず設置前に確認してください。(詳細はレンズの取扱説明書をご参照ください。)
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き（スミア）、および高輝度の被写体周辺のにじみ（ブルーミング）が現われます。これは CCD 特有の現象で、故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時 **1/60** 秒に設定しています。商用電源周波数 50Hz 地域において蛍光灯下で使用する場合は、1/100 秒に切り換えてください。(**1/100** 秒のとき、感度が少し下がります)
- 標準の照明下でなく、または色温度が本機の許容範囲を越えての環境で撮影するときは、自動追尾システムは動作しないことがあります。このようなときは **WHT.BAL** を **"MANU"** に設定してください。
- 被写体が単一色の場合（白以外の色）、自動白色回路はこの単一色を白に変えます。このように、カメラが正しく判断できないときは、被写体の色が変わるまで、以前に設定したホワイトバランスを維持します。
- ラジオやテレビの送信アンテナの近く、変圧器・モーターなど強い電磁波が発生する機器の近く、またはトランシーバーや携帯など無線機器の近くで本機を使うと、画像にノイズがのったり、色ムラを起こすことがあります。
- 本機は高温下で使用した時、画面上に縦縞が発生することがありますが、これは CCD 特有の現象で故障ではありません。
- 本機の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。
  シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、後でからぶきしてください。
- 節電のため使用しないときは、システムの電源を切ってください。
- 設置する場合、次のような場所は避けてください。(雨や水のかかる場所、使用周囲温度を超える場所、放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所、振動する場所、ほこりの多い場所、油やガスの発生する場所)
- 本機は屋内用カラービデオカメラです。屋外で使用する場合は、屋外用カメラハウジング（別売）が必要です。

1. レンズ取付



1. レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認します。出荷時本機は CS マウントになっています。C マウントレンズ使用時は、プラスドライバーで**バックフォーカス固定ネジ**をゆるめ、**バックフォーカス調整リング**を指やドライバーで矢印の方向に回して、マウント方式を切り換えます。
調整が終了したら、**バックフォーカス固定ネジ**を時計方向に回して、締めます。

2. 下図に示すレンズ取り付け部分の寸法Lは,表に示した値のものをご使用ください。寸法Lが長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。特に、CS マウント時には、C マウントレンズを取り付けないようにご注意ください。故障の原因となります。



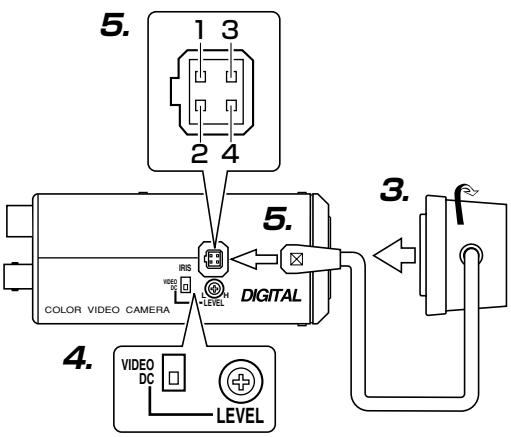
レンズ	フランジバック	寸法 L
C マウントレンズ	17.526 mm	10 mm 以下
CS マウントレンズ	12.5 mm	5.5 mm 以下

3. レンズを時計方向に回してカメラにしっかり取り付けます。

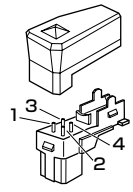
4. 自動絞りレンズの場合、使用レンズによりスイッチを切り換えます。
VIDEO : EE アンプを内蔵しているレンズ使用時
DC : EE アンプを内蔵していないレンズ使用時

5. 自動絞りレンズの場合、レンズケーブルをソケットに接続します。
レンズケーブルのプラグが異なる場合は、4 ピンプラグを使用して接続します。[4ピンプラグ品番 : SCV2859-001]
4 ピンプラグについては、お買い上げ販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合せください。

ソケットを本体側面から見た図



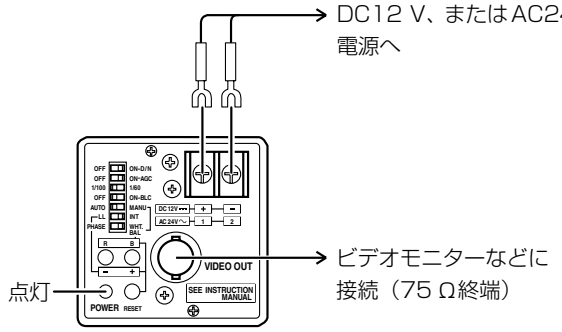
ピン番号＼レンズ	DC アイリスレンズ (EE アンプなし)	VIDEO アイリスレンズ (EE アンプ付き)
1	制動 ⊖	9.5 V（最大 50 mA）
2	制動 ⊕	NC
3	駆動 ⊕	VIDEO
4	駆動 ⊖	GND



4 ピンプラグ

2. 接続

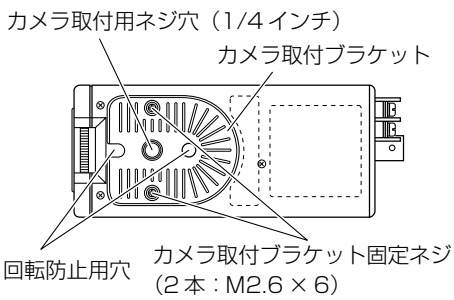
本機に電源が供給されると、POWER ランプが点灯します。



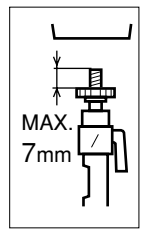
ご注意

- 電源の－端子(電源の筐体）は、GND に落とさないでください。
  また電源ケーブルは30 m以下、抵抗値は4 Ω以下(合計)を使用してください。
- AC 24 V電源は安全確保のため、商用電源とは絶縁されたものを使用してください。（スライダック不可）

3. カメラ取付

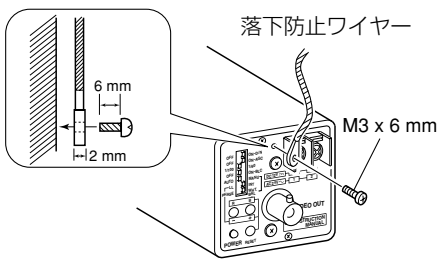


- 本機をフィクサー、回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ネジ穴を使用します。**(ネジの長さ7 mm以下使用)**
- 出荷時、カメラ取付ブラケットはカメラ上面に取り付けられていますが、下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ネジ2本をはずして付け換えます。



ご注意

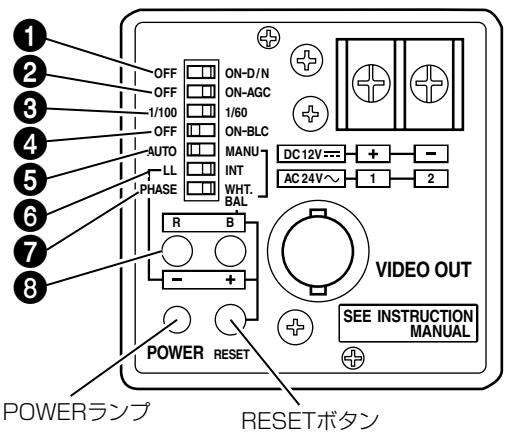
カメラ取付ブラケット固定ネジは、長さ 6 mm のものを使用してください。



[落下防止]　⚠ 注意

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- フィクサー、回転台等に取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し確実に取り付けてください。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ（天井スラブまたは、チャンネル）とワイヤーチェーンなど落下防止ワイヤーで接続してください。取り付けは、本機背面のネジ穴を利用してください。ワイヤーは、絶縁物を利用し、長さにも十分注意してください。
- ネジは、背面に取り付けてあるネジ（M3 × 6）を利用してください。
  6 mmより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

4. スイッチ設定



❶ **[D/N ON/OFF]簡易 Day & Night 切換スイッチ**
昼と夜などのように輝度が変わる被写体を連続して撮影する場合 **“ON”** に設定します。輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードとなります。
また、この時、AGCはスイッチの設定にかかわらず、常に動作状態となります。

❷ **[AGC ON/OFF]自動ゲイン制御スイッチ**
被写体の明るさが不足するとき **“ON”** にすると自動的に感度が上がります。

❸ **[SHUTTER]電子シャッター切換スイッチ**
電子シャッターのスピードを切り換えます。
1/60　：通常このポジションで使います。
1/100：商用電源周波数 50 Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。

❹ **[BLC ON/OFF]逆光補正スイッチ**
被写体が逆光状態のとき **“ON”** にするとレンズのアイリスが**約 1 絞り**開き、被写体が見えやすくなります。

❺ **[WHT.BAL AUTO/MANU]ホワイトバランス切換スイッチ**
色温度2300 k～10000 kの範囲内の照明に対して、ホワイトバランスを調整できます。
AUTO　：自動的に調整されます。
MANU：自由に調整できます。
❼を **“WHT.BAL”** にして、❽のRボタンとBボタンで調整します。
R　：赤みを増やします。
B　：青みを増やします。
初期設定に戻すときは、**RESET** ボタンを押します。

❻ [LL]ラインロックスイッチ（60Hz地域に限ります）
通常は“INT”でお使いください。
電源周波数に同期させる場合、以下の手順でLLモードに設定します。スイッチを“LL”にしたあと、❼を“PHASE”に設定します。
❽の+ボタンまたは−ボタンを押して、本機の垂直位相と他のカメラ（またはシステム）の垂直位相がオシロスコープ上で同じになるように調整してください。
初期設定に戻すときは、RESETボタンを押します。

❼ [PHASE]位相スイッチ
ホワイトバランスやラインロックを調整するときに押します。

❽ [R/B], [− / +]ボタン
ホワイトバランスやラインロックを調整するときに押します。

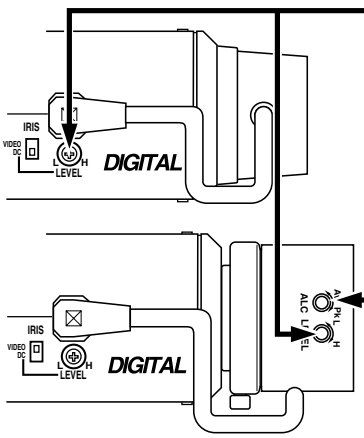
MEMO
- 本機のホワイトバランスは太陽光やハロゲンランプ等に合うよう設定されており、蛍光灯などの人工光に対しては、ホワイトバランスがとれない場合があります。

5. レンズ調整

本機は工場出荷時最適な位置に調整されていますが、被写体の条件、組み合わせレンズの条件により再調整が必要な場合があります。この場合は、本機背面部のAGCスイッチを“OFF”にしてから映像を確認しながら下図に従って調整してください。（レンズの取扱説明書もあわせてご覧ください）

■ DCアイリスレンズの場合
(EEアンプなし自動絞りレンズ)
本機側面のスイッチを“DC”に切り換え、本機のLEVELボリュームを調整します。

■ VIDEOアイリスレンズの場合
(EEアンプ付き自動絞りレンズ)
本機側面のスイッチを“VIDEO”に切り換え、レンズ側のLEVELボリューム、ALCボリュームを調整します。



● LEVEL 調整

モニター画面	LEVELの操作方向
暗くする時	反時計方向（L側）
明るくする時	時計方向（H側）

MEMO
LEVEL(感度調整)をL側に回し過ぎるとカメラのAGCにより感度があがり、画質がザラついた感じとなります。このためLEVEL調整は、AGCスイッチを必ず“OFF”に設定してからおこなってください。

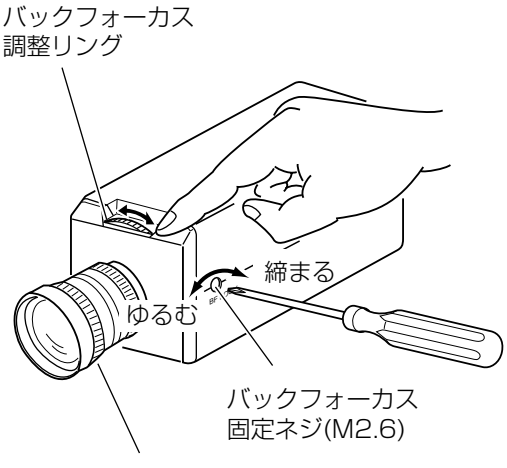
● ALC 調整

モニター画面	
・コントラストが強く感じる時 ・画面の一部分（高輝度部）がハレーション気味の時	時計方向（Pk側）
・コントラストが弱く感じる時 ・画面の一部分（高輝度部）を除く他の部分が暗い時	反時計方向（Av側）

MEMO
使用レンズによっては、LEVELボリュームをL側に回し過ぎると、アイリスが開いたり閉じたりするハンチング（画面のバタツキ）がおこることがあります。この場合は、画角をとりなおしてからLEVELボリュームを一度H側に回し、映像を見ながらLEVELボリュームを調整し直してください。

6. バックフォーカス調整

工場出荷時、CSマウントで最も適用範囲の広い点に調整されています。ただし、Cマウントレンズを使用する時、または違うレンズを使用する時、レンズのフォーカスリングでピントが合わない時は再調整が必要です。
必要なときには下記方法により、バックフォーカスを調整してください。



<固定焦点レンズの場合>
レンズのフォーカスリングを調整してピントが取れないときは調整をしてください。

1. **バックフォーカス固定ネジ**をプラスドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. レンズの**フォーカスリング**を∞にします。
4. **バックフォーカス調整リング**を回してピントを最良にします。
5. **バックフォーカス固定ネジ**を時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

<ズームレンズの場合>
ズーミング操作（望遠〜広角）をして、ピントがずれる時は調整をしてください。

1. **バックフォーカス固定ネジ**をドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. ズームを望遠にし、レンズの**フォーカスリング**を回してピントを合わせます。
4. ズームを広角にして**バックフォーカス調整リング**を回してピントを合わせます。
※ ***3.4*** を2〜3回繰り返します。
5. **バックフォーカス固定ネジ**を時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

MEMO
被写体が明るい場合は、NDフィルターを使用すると、より正確なバックフォーカス調整がおこなえます。（NDフィルターとは、レンズに入射する光量を全波長域均等に減少させる働きをするフィルターです）

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●消耗部品について

下記部品は消耗部品です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は**保証期間内でも有償となります。**

部　品　名	備　　考
撮像素子（CCD）	一年保証のみ。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフタサービスについてご不明の点は、お買上げの販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

●修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

・機種名：TK-C920
・故障の状態をできるだけ詳しく：
・ご購入年月日：
・ご住所、ご氏名、電話番号

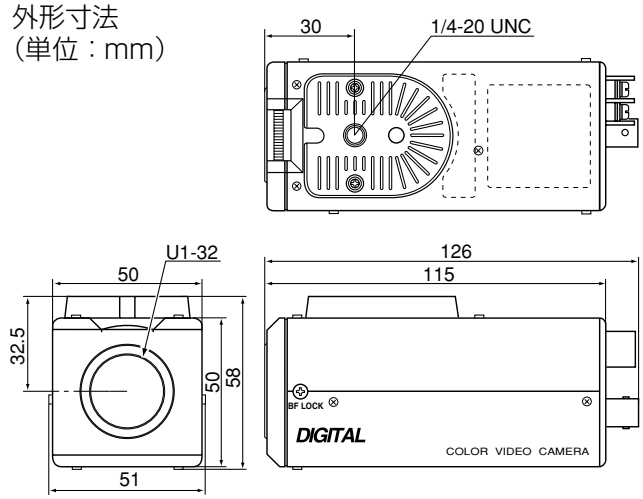
商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

撮像素子	：インターライン転送方式 CCD
有効画素数	：約 38 万画素〔768(H)×494(V)〕
イメージサイズ	：1/3 型
同期方式	：内部同期
走査周波数	：水平：15.734 kHz 垂直：59.94 Hz
水平解像度	：540 TV 本 (typ.)
映像 S/N 比	：50 dB（標準、50 %、AGC-OFF）
最低被写体照度	：カラーモード： 1.5 lx（標準、50 %、F1.2、AGC-ON) 白黒モード： 1.0 lx（標準、50 %、F1.2、AGC-ON)
電子シャッター	：1/60 秒（標準） 1/100 秒(50 Hz フリッカーレス）
レンズマウント	：C/CS マウント
電源	：AC24 V　50 Hz～60 Hz または DC 12 V
消費電力	：⎓ 4.7 W
周囲温度	：－ 10 ℃～50 ℃（動作） 0 ℃～40 ℃（推奨）
質量	：370 g
添付物・付属品	：保証書× 1 ビクターサービス窓口案内× 1 取扱説明書× 1

外形寸法
（単位：mm）



本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120–2828–17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950［代表］
FAX (045) 450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　電話 (042) 660-7203

© 2007 Victor Company of Japan, Limited

LST0465-001B